

## ■ 一般目標 (GIO)

2年次で学んだことを活かし、要介護を含めた高齢者の歯科医療について理解する。また、口腔のみにこだわらず、口腔を通じて生活全般を視野に入れ精神的、身体機能的援助方法を学ぶ。

## ■ 到達目標 (SBOs)

- ・嚥下のメカニズムと嚥下障害について説明できる。
- ・摂食嚥下リハビリテーションの訓練的対応について説明できる。
- ・介護予防における歯科衛生士の役割を説明できる。
- ・介護予防における口腔機能向上について説明できる。
- ・栄養サポートチームについて説明できる。
- ・チーム医療の概念について説明できる。

■ 教科書：最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版(医歯薬出版)

■ 参考書：歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション第2版(医歯薬出版) 歯科衛生士講座 高齢者歯科学 第3版(医歯薬出版)

■ 授業時間：水曜日 9：00～11：50

■ オフィスアワー：鈴木 雅子 (suzuishi.masako@nihon-u.ac.jp)  
月曜日～金曜日 9：00～17：00

■ 授業の方法：教科書と授業で配布するプリントを中心に、プロジェクトを利用した講義形式を進める。実習では、グループワークや相互実習を行うため準備学習も含め積極的に取り組むこと。

■ 準備学習・ 事前に教科書を読み講義内容を予習しておくこと。

準備学習時間：復習は教科書, プリントを合わせ, 理解を深めること。

実習に関しては, 実習内容のプリントを読み理解を深めておくこと。

掲示を確認し, 実習準備を行うこと。

準備学習に記載された事項に必要なだけの時間を充てて予習復習をすること。

■ 成績評価方法：定期試験(80%), 実習課題レポート, 5回(20%)を総合して評価を行う。

■ 注意事項：グループ学習は積極的に参加すること。

実習の時は身だしなみを整え, 忘れ物をしないこと。

■ 実務経験：鈴木 雅子：歯科病院, 歯科医院, 高齢者施設での勤務経験を持つ。その経験を基に, 歯科衛生士の立場から高齢者を身体的, 精神的に援助するために必要な理論・技術を学べる講義, 実習にしたいと考えている。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1・2・3回 4月7日 鈴石 雅子	嚥下のメカニズムと嚥下障害について 介護予防について  NSTについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 嚥下のメカニズムと嚥下障害について学ぶ。</li> <li>・ 介護予防における口腔機能向上プログラムの実施をするために介護保険制度を理解し、知識と技術を修得する。</li> <li>・ 栄養サポートチームについて学ぶ。</li> </ul>
第4・5・6回 4月14日 鈴石 雅子	チームアプローチについてⅠ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療職や介護職など複数からなるチームアプローチとは何かを理解する。</li> </ul>
第7・8・9回 4月21日 鈴石 雅子	チームアプローチについてⅡ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療職や介護職など複数からなるチームアプローチとは何かを理解する。</li> </ul>
第10・11・12回 4月28日 鈴石 雅子	チームアプローチについてⅢ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療職や介護職など複数からなるチームアプローチとは何かを理解し、発表する。</li> <li>・ 医療職や介護職など複数からなるチームアプローチとは何かを理解する。</li> </ul>
第13・14・15回 5月12日 鈴石 雅子	チームアプローチについてⅣ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療職や介護職など複数からなるチームアプローチとは何かを理解し、発表する。</li> </ul>
第16・17・18回 6月16日 鈴石 雅子	高齢者へのアプローチについて 介護保険制度の仕組みについて  歯科衛生士による介護予防の実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 嚥下困難患者へのアプローチの仕方について学ぶ。</li> <li>・ 介護予防が求められる背景について、また、介護保険制度の仕組みについて学ぶ。</li> <li>・ 「専門的口腔ケア」における「口腔機能の向上」について学び、実際の展開方法を知る。</li> </ul>
第19・20・21回 6月23日 鈴石 雅子	要介護高齢者の摂食・嚥下障害と口腔ケア 病態とアプローチの基本  介護予防における歯科衛生士の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要介護高齢者の摂食・嚥下障害と口腔ケアについて学び、病態とアプローチの基本を確認する。</li> <li>・ 介護予防における歯科衛生士の役割がどのようなものかを学ぶ。</li> </ul>

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	機能的な口腔ケア 口腔ケアプランの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能的口腔ケアがどのようなものかを学ぶ。</li> <li>・ 口腔ケアプラン作成の手順と記入方法について学ぶ。</li> </ul>
第22・23・24回 6月30日 鈴石 雅子	要介護高齢者の摂食・嚥下障害と口腔ケア  口腔ケアの実際と接し方  歯科衛生過程 症例検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要介護高齢者の摂食・嚥下障害と口腔ケアについて学び、口腔ケアの実際と接し方を確認する。</li> <li>・ 特別養護老人ホームにおける事例を歯科衛生過程のステップとともに検討し、確認する。</li> <li>・ 様々な場面での歯科衛生士としての役割をグループにて検討する。</li> </ul>
第25・26・27回 7月7日 鈴石 雅子	歯科衛生士の訪問口腔ケア  口腔ケア相互実習 (半数)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科衛生士の訪問口腔ケアを学び、要介護者のQOLの向上を目指して実践できるよう学ぶ。</li> <li>・ 相互にてより良い口腔ケアを考え、技術を学ぶ。半数による相互実習の為、半数の学生は課題学習を行う。</li> <li>・ 介護側の口腔ケアのポイントを学び、介護者に対しての指導の仕方を身につける。</li> </ul>
第28・29・30回 7月14日  鈴石 雅子	介護者の口腔ケアのポイント  口腔ケア相互実習 (半数)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護側の口腔ケアのポイントを学び、介護者に対しての指導の仕方を身につける。</li> <li>・ 相互にてより良い口腔ケアを考え、技術を学ぶ。半数による相互実習の為、半数の学生は課題学習を行う。</li> <li>・ 介護側の口腔ケアのポイントを学び、介護者に対しての指導の仕方を身につける。</li> </ul>